

a 学校教育目標	郷土を愛し、 自らの役割を見つけ、 全力で伸びようとする児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)「知・徳・体」の基礎基本を身につけ、郷土の発展を願う児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像)・児童の主眼的に学ぶ力を育成し、基礎学力を定着をさせる学校 ・自己を愛し、健康でたくましく活動する児童を育成する学校 ・郷土のよさと課題を知り、その発展のために、地域を支え得る人材を育てる学校
-----------------	---	-----------------------------	---

評価計画					自己評価					改善方策	学校関係者評価			
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	月	月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成	h 達成					イ	ロ	ハ	
確かな学力の向上	児童の主眼的に学ぶ力を育成し、基礎学力を定着をさせる学校	学ぶ楽しさを味わえる学校 (児童の「～たい」を起点に、「～できた」「～なれた」の実現)	1 学習の動機付けを工夫し、ゴールイメージを明確に持たせる。 2 ゴール達成に向けた授業展開を図る。 3 学習後の振り返りを適宜行う。	・ゴールイメージを明確に持たせるよう、学習の動機付けを工夫した単元の割合 ・学習後「～できた」「～なれた」という意識を持てた回数の割合(自己評価結果)	全単元の50% 工夫をした単元で半分以上肯定的に回答した児童80%									
	既習事項を学習や生活に生かす学校	1 「漢検」受験に向けた漢字学習を展開する 2 既習事項を踏まえた学習活動の設定を図る(国算理)。	・受験した級を合格した児童の割合 ・既習事項を踏まえて学習を行った授業の割合	80% 全単元の50%										
豊かな心と健やかな体の育成	自他を大切にしながら、切磋琢磨し合う学校風土の醸成	他者の良さや頑張りに気づき、学び合う雰囲気形成(継続)	1 各自の得意なこと、上手なことを推薦し合い、「〇〇マイスター」として認定し、廊下へ掲示する。	・他者の頑張りに気づき、推薦できる児童の割合 ・他者の頑張りに学び、自らの取組に生かした児童の割合	達成児童100% 達成児童70%									
	自身の立てた目標に向けて、努力を惜しまない児童の育成(継続)	1 もっと成長したいと思わせる場の設定を工夫する。 2 目標と取組状況を見える化し、努力を称賛する。	1年間の目標を立て、継続的に努力した児童の割合(観察・アンケート)	達成児童80%										
信頼される学校	佐木島の学校として地域住民の心の拠り所となり、必要とされる存在となる	鷺浦小学校の存続を願い、支援して下さる地域住民を増やす	1 具体案(プラン)を作成する。 2 町内会長組織・PTAへの協力依頼とPR活動を行う。 3 申込書を作成・配布し、応募者(登録者)リストを作成する。	・「鷺浦小学校応援団(仮称)」登録世帯・事業所数	100軒以上									
	教職員の勤務時間外在校時間の縮減(年間360時間以内)	1 緊急時を除き、勤務時間外の用務を設定しない。 2 勤務時間内に事務処理時間を確保する。 3 行事の精選・見直しを進める。 4 効率的な職務遂行を推進する。	・個別の勤務時間外在校時数の積算	月30時間×実施済月数以下100%										

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達)

【l:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。